

公山城ロータリークラブ訪問 報告

10月9日(日)～11日(火)、韓国を訪れ、我がクラブと姉妹クラブである公山城ロータリークラブを訪問、交流を図ってきた。3日間とも好天に恵まれ、快適な一時を楽しむことができた。参加者は庄司副会長を筆頭に尾上幹事、西澤さん、朴さん、それに村山の総勢5人。今回の訪問は、かねてからお招きを受けていた百済文化祭を見学するもので、2年越しでやっと実現することができました。

韓国金浦空港から車で2時間半ほどで、公州市に到着、ここでクラブの幹事の出迎えを受け、そのまま李会長が所属する教会で思いがけないプレ接待を受けてから、文化祭会場に案内された。街も、会場も人で溢れ、河川敷、川、そして対岸の城址がすべて巨大な会場と化し、様々な電飾が所狭しと飾られ、沢山のブースやライブステージが用意され、大変な賑わいである。すでに公山城ロータリーの方々が集合して、我々を待っていた。20人近くのメンバーがいたろうか。早速栗マッコリで乾杯、すぐに焼酎も登場、手荒い歓迎会が始まり、次々に歓迎の乾杯と返杯の繰り返しで、この日もやっぱり酔ってしまいました。しばしの歓談の後、全員で文化祭の会場を散策、歴史上の人物や物語を形どった電飾を眺めたり、遺跡の発掘現場や歴史的な住居跡などを見学したあと、大衆芸の観劇をしてその日はお開きとなりました。会場にほど近い韓屋村という所で、韓国伝統のオンドルを用いた暖房をベースにした住居でその日は一泊。得難い体験をさせてもらった。

翌朝は一面の霧、幻想的な雰囲気の中、朝食は園内のレストランで公山城RCの方々と一緒にとり、その後、クラブの事務所へ移動した。相互にメンバー紹介をした上で、李会長から歓迎の挨拶が、それを受けて庄司副会長が高須会長のメッセージを伝え、お土産を渡しました。ひとしきり雑談の後、ここから車で1時間程の扶余(ぶよ)に向かい、遊覧船から扶蘇山



た。道中至る所工事が行われており、韓国は依然活気が感じられた。この日の宿泊はソウルの繁華街の一流ホテル、一同ほっとしたように見えたが、気のせいかな。

3日目は、早朝から、南大門市場、青瓦台、南山頂上のNソウルタワーなど定番の観光をし、最後の昼食に激辛の(ガイドは普通だというが) ビビンバを食べて、この旅行をしめくくった。

(村山記)

Member's Voice

めんぼう NO 79

渡部 一元

武士道とロータリー

「あの人はサムライだ」は褒め言葉である。サムライとは、物事に筋を通し、果敢に立ち向かう正義漢を指す。戦後の社会では、旧来の行動規範は失われたが、「武士の情け」、「武士に二言は無い」など、武士道の行動哲学は我々の日常生活に根付いている。桜花と同様武士道は日本の象徴である。武士道は、聖書やコーランのような成文法ではない。武士には数々の厳しい掟がある。書かれざる掟もある。それ等を集大成したのが武士道である。

「武士道というのは死ぬことと見付けたり」は余りにも有名である。これは佐賀藩の老臣の口述による葉隠聞書(略して葉隠・18世紀初頭11巻に編纂)の一節である。文字通り死ぬ気で、命がけで、必死に、死に物狂いで事に当たることが肝要である。武士道は、死を覚悟することによって、生きる力を与えてくれる。しかしその間、必要あれば、例えば名誉を汚されれば、死ぬことに躊躇しない。なぜなら名誉は命以上に大切だからである。武士道については「葉隠」の他、三島由紀夫「葉隠入門」、宮本武蔵の「五輪書」(17世紀)、新渡戸稲造の「武士道」(原文は英文。日本語訳。他にドイツ語、フランス語など多くの言語で出版されている)などがある。新渡戸稲造によれば、武士道は三つの柱からなっている。即ち、智、仁、勇である。その中で、仁とは、慈悲の心として、至高の徳、王者の徳とされてきた。

「葉隠」には、四つの誓願がある。

- 一、武士道に於いて、おくれ取り申すまじき事
- 一、主君の御用に立つべき事
- 一、親に孝行仕るべき事
- 一、大慈悲を起こし、人のためになるべき事

武士による深い慈悲は、単なる心の状態だけではない。勇気ある、権力者としての武士には、他者の苦しみを慮る優しい思いやりが必要である。宮本武蔵の言によれば「身をあさく思い、世をふかく思う」である。即ち自分の身は差し置いて、世に尽すのが本分である。かくして武士道は、欧米の騎士道によるノブレス・オブリージュ(身分の高い者は身分にふさわしい振る舞いをしなければならない)と通ずるものである。同様に、武士道の慈悲は、ロータリーの奉仕活動と近い考え方である。1930年、ロータリークラブ創立25周年記念式典がシカゴで盛大に開かれた。日本の東京ロータリークラブからも代表が駆けつけ流暢な英語でお祝いを述べたところ、ロータリー精神と武士道は良く似ているとの声が上がリ、大いに盛り上がった、と言われる。新渡戸稲造の「Bushido」は1899年に出版され、既に多くの人が、読んでいたことだろう。当時のルーズベルト大統領は、「Bushido」を自ら読み、家族、友人たちにも配ったとのことである。宮本武蔵の「五輪書」は「The Book of Five Rings」と翻訳され、海外の経営者、ビジネスマンの経営書としても活用されている。日本の武士道は世界の武士道である。



こころの中を見つめよう 情愛を広げるために

2011～2012 年度

国際ロータリーテーマ：カルヤン・パネルジー会長

Weekly Report

東京赤坂ロータリークラブ週報

「未来に向かって広げよう心の絆 赤坂ロータリークラブ」
2011～2012 年度・東京赤坂ロータリークラブテーマ/高須康有会長

●本日の例会/2011 年 10 月 27 日 第 1183 例会

RI2750 地区 片倉章雄ガバナー公式訪問
東京南 RC・東京赤坂 RC・東京麻布 RC 合同例会
(会場 東京會館 12F ロイヤルルーム)
卓話「ガバナー公式訪問にちなんで」
RI 第 2750 地区ガバナー 片倉章雄氏
(東京日本橋 RC)

ガバナー・会長・幹事・会長エレクト懇談会
10:20～11:10
(会場 東京會館 12F コレニアルーム)

国際ロータリー第 2750 地区
2011-2012 年度ガバナー
片倉章雄



プロフィール

生年月日 1929 年 10 月 14 日
学 歴 1951 年 3 月 成蹊大学政治経済学部卒業
職 歴
1952 年 4 月 日東紡績(株) 入社
1953 年 3 月 三和合名会社 代表社員に就任
1960 年 4 月 (財)片倉館 監事に就任
1961 年 3 月 日東紡績(株) 退社
1967 年 6 月 片倉興産(株) 取締役役に就任
1987 年 4 月 学校法人松本松南高等学校監事に就任
1990 年 10 月 片倉興産(株)代表取締役就任
2000 年 5 月 片倉興産(株)取締役相談役に就任
現在に至る

ロータリー歴

1979 年 東京日本橋ロータリー・クラブ入会
1987-88 年 クラブ国際奉仕委員長
1989-91 年 クラブ会計
1991-92 年 クラブ青少年奉仕委員長
1992-93 年 クラブローターアクト委員長
1993-94 年 地区副会計
1994-95 年 クラブ広報委員長
1996-97 年 クラブR財団委員長
1998-99 年 クラブ親睦委員長
1999-00 年 クラブ奉仕委員長(会長エレクト)
2000-01 年 クラブ会長
2002-03 年 ガバナー補佐(千代田G)
2005-06 年 地区社会奉仕委員長
ポール・ハリス・フェロー、ベネファクター、
米山功労者(マルチプル)

●前回報告/2011 年 10 月 21 日 1182 回例会

卓話:「ジャズの楽しみ」
ジャズシンガー
Miho Takashima 氏



親睦活動委員会:(清水委員長) ①11月の火曜会(11月1日)会場がいつもの ANA HOTEL でなく、岩上会員のご実家です。キャピタル赤坂ビル9F。②受付テーブルに麻布との合同ゴルフコンペの出欠表を置いています。是非参加下さい。11月22日(火)です。

25 周年記念実行委員会:(橋本副委員長) 12月15日(木)にクラブ創立25周年記念祝典・祝賀を当ホテルにて行います。皆様にはご案内のお手紙が届いていると思います。創立25周年は当クラブに取りましては大切な行事で、式典には片倉 ガバナーを始め多数の来賓が出席されます。会員の皆様には御家族共々ご参加いただき、全員で御祝いをいたしましょう。11月15日までに、同封の出欠届を FAX またはメールで事務局にお寄せ下さい。

幹事報告:六本木ヒルズ森タワー2F ヒルズカフェ「につぼん一大使たちの視線 2011」写真展に陸前高田松原の一本松の写真が展示されています。ぜひご覧下さい。

慶事披露: 誕生日祝/渡部一元君(10月8日)
100%出席 庄司泰典君(10月11日)
吉田用親君(25年) 吉岡琢磨君(10月13日)



出席報告:会員43名/出席25名・欠席18名
ゲスト / Miho Takashima(卓話)、島本幸治(入会予定者)、荒井省吾、片山敏雄
ビジター/ 飯田美里(東京本郷RC)
計5名(順不同・敬称略)

●次回予告/2011 年 11 月 4 日(金) 第 1184 例会
卓話予定:「美術館の楽しみ」
美術館デザイナー&プランナー 澤登 紀乃 氏

第3回 クラブ協議会「会員増強について考える」

大西ガバナー補佐・佐藤グループ幹事をお迎えして（10月14日）

大西千代田グループガバナー補佐、佐藤グループ幹事をお迎えして、尾上幹事の総合司会のもと、標題のテーマでクラブ協議会が行われました。

1. 挨拶 高須会長
本日は、クラブ協議会へ御出席いただき、ありがとうございます。大西ガバナー補佐、佐藤グループ幹事のもとクラブ協議会開催を嬉しく思っております。本日のテーマは、当クラブの大きな課題の会員増強についてということで、実のあるご意見をいただき、実のある会にしていきたいと思ひます。大西ガバナー補佐、佐藤グループ幹事、よろしくお祈り申しあげます。お二人には、千代田グループ会長幹事会でも、良い雰囲気の中で御指導いただいております。改めまして御礼申しあげます。

2. 赤坂RCの現状/今後の取組み 橋本会員増強副委員長
先日とも会員増強について東京南 RC の和田前年度幹事に卓話をいただきました。

年度	入会者	退会者	期末会員数
2007～08	5	2	54
2008～09	3	10	47
2009～10	3	2	48
2010～11	3	8	43
2011～12*	2	2	43

本日とも御指導いただき、前向きに取り組んでいきたいと思ひます。会員 43 名のうち、10 名で 21 名を推薦、残りの 33 名は 1 名の推薦も無い

（*）年度途中
のが現状である。（この他、別添資料に基づき、我がクラブの会員数の推移、推薦会員の実績、会員増強・維持の対策等について詳細説明があった）

司会：最近になって、新会員が 4 名入りじわじわと効果が出てきていると思ひます

石井増強委員長：橋本増強副委員長から資料の説明があったが、ここ数年、増強に苦心している。先日のグループの会員増強委員会では、どこのクラブも苦心していることが分った。今日は、是非活発なご意見をお祈り申しあげます。

3. こうして推薦・こうして入会（事例紹介）
西澤：98 歳で他界した父が 95 までロータリーの会員でした。会員を辞めてからも、ロータリーの方とのお付き合いがあり、寂しくなく過ごしておりました。そういうこともあり、ロータリーは素晴らしいなと思っております。私は、ハリスは、奉仕も大切だが、クラブの会員、構成員がしっかりと強くなければ人の為にはならないと思つてつくつたのだと考えます。岡澤さんとは、たまたまゴルフ場で会い、ロータリーの話をしたら、興味を示してくれたので、一度例会に来てみませんかということで来ていただいた。岡澤さんは、ビジネスマンとしても素晴らしく、勉強家でもあるので、RC のためになると思ひます。会員は、前向きに戦う人が大事です。入会したばかりの頃親睦委員長になり、加山雄三のショーを開催することになった。まだ何も分からなかったのだが、会員の皆さんに助けられ、成功することができた時、ロータリーは素晴らしいところだと思ひました。

岡澤：ゴルフ場で西澤さんから会員を募集していると聞き、連絡したところ、とりあえず例会へ来てみませんか、ということになりました。行ったら、考えるひまもなく入会することになりました。入ったら、いろいろな人と出会い、楽しくやっております。入って 2 年目に 1 年間休みましたが、また行けるようになったときに、ウェルカムで迎えてく

れたので嬉しく思っています。
推薦では、関さんを紹介しました。関さんとは 10 年の付き合いで、ロータリーの話をしたら、どういったところかと聞かれ、ではとりあえず来て下さいという話になり、来ていただいた。それから、佐藤雅彦さんとゴルフをやったり、入会前から溶け込み、スムーズに入ってきた印象があります。ロータリーには多くの人が興味を持っているが、アクセスする機会がないので、入るチャンスがないという人がいるのではないかと思ひます。ロータリーは奉仕とかいろいろあるが、入会するきっかけは、どういう人と活動できるか、ということがキーワードになるのではないかと思ひます。皆と仲良くなれば、そのまま居つくのだろうと思ひます。
佐藤（仁）：平田さんのご紹介で入りました。平田さんは、本当にまっすぐな人で、私の患者さんでもあるのですが、先生、ロータリーへ来てみませんか、ということで、例会にきました。卓話が素晴らしく、こういったお話が聞けるならということが入りました。始めは、お客様みたいな感じで過ごしましたが、気が付けば 3 年たちました。いつも遅れて来たりしますが、橋本さんや、清水さんが声をかけてくださり、とても温かい気持でおります。

4. 自由討議
村山：私は増強については苦手で、避けて通りたいテーマでもあります。私が入会した時は、一業種一社の時代で、同じ業種の人はおりませんでした。当時私が所属していた組織には、小さな組織にも関わらずロータリアンが 11 人もいました。そのような環境にいたものだから、会員増強については深刻に考えずに過ごしてきてしまった。最近になってやっと自分も増強をがんばらなくてはと思うようになったが、知り合ひは意外に既に入っていたりする。何とか一人入会させるまでは、自分自身も退会できないという思ひでおります。広報に関しては、率直に言つてライオンズなどに比べて発信力が弱いと思ひます。

司会：新会員の勧誘のテクニックの話、何のための会員増強か、それから質はどうかという話も出ました。テクニックは発揮すれば、そこそこ集まるとは思ひますが。

大日方：1 つは、会員増強委員長の必死度が伝わつてこないといけなひ。この 1 年間は必死にやるよ、というのであれば、周囲の人は助けたくなる。西澤さんもいいましたが、自分が誘いたいと思わなひといけなひ。この素晴らしいクラブなら、入りたくなるに違ひない、と思ひます。東京の中で千代田グループは中心で、しかも赤坂は知名度があり、その素晴らしいクラブが誘いたいクラブにならないのはおかしい。誘いたくならないのであれば、自分たちに情熱がないのではないかと。情熱がなければいけなひ、そこを刺激するのが会員増強委員長の役目です。

司会：名古屋の成功例。必ずゲストでお誘ひする。そうすると招待された方のほうから、入りたひとなる。2、3 回ではなくて、続けていくと入りたくなるという。

尾関：人を誘うのは難しい。3 名ほど誘ひましたが、やはり熱意が伝わらなかつたのかもしれなひ。しっかりと相手の気持を汲み取ることもできず、クラブの素晴らしさを伝えることができなかった。財政的にもやはり一人が一名入れなくてはいけなひ。個人的には、ビジネスでこられる方は NO だといひたい、フレンドリーな関係ができないと思ひます。いい友達、人生を楽しむことがロータリーなのではないかと思ひます。今我がクラブは難しい状況にある。退会に歯止めをかけたい、つまり魅力あるクラブでなければいけな

い。岡澤さんの話ではないが、入つて楽しい、魅力があるというのが大切なのではないだろうか。
司会：以前は気を使つてくれる会員がいっぱひいて、一人でいると話しかけてくれたりしたが。

吉岡：私は 18 年おりますが、入つたときは、緊張感がありました。自分の推薦した会員（ジョンさん、庄司さん）がいると、調子が悪いときでも、がんばらなくてはと思ひます。そういったことから、一人一名は紹介したほうがいい。また、愛着もあつたほうがいい。親睦など積極的にやつたほうがいい。もう一度原点に戻つて頑張つていきたいと思ひます。
橋本：入沢会員から入会の前、焼き鳥屋で話を聞きました。その時、素晴らしいクラブと素晴らしい人の集まりだと思ひました。入会してからもよかつたと思ひました。入つた時は、カウンセラーの田村さんが面倒をみてくれて、居心地のいい雰囲気をつくつてくれました。親睦活動委員長や、幹事をやり、ロータリー活動に一層情熱がわきました。南 RC の和田さんに御指導いただき、今回の資料をつくつたが、推薦した方で残つている方が少ないことが目立つ。これからは、一人が一名推薦していただきたいと思ひます。
清水：村山さん、尾関さん同様、会員増強が一番触れられたくない話題です。奉仕などいろいろあるが、ロータリーでは、コミュニティ、結びつきが重要である。仲間同士、家族も仲良くやるというのが大事だと思ひます。私は合唱をやっているが、その仲間は 50 年以上付き合っている。そこでコミュニティができている。私の場合、そういった中でロータリーでも同様のコミュニティを構築するとなると負担になつてしまう。ですから、ロータリーはそういうふうにかつている方がひびつていけばいいのではないかと思ひます。ロータリークラブは、伝統があり、庶民感覚からは、外れたところにあるという感じがする。

四分一：私の場合は、西澤さんの話ではないが、相当事前に説明を聞いて入りました。吉岡さんに話した時も、かなりお話しして入ってもらひました。自分自身がどのような考えをもつて入るかということが大切。私は大会社ではないので、自分ひとりで何でも考えなければいけなひポジションにいたので、ロータリーは、人生道場のような感覚でおります。最近緊張感が薄れたかなと感じてる。仲良しクラブというよりは、自分自身を磨くためのクラブでいたいと思つております。

田村：私は、5 年前に会員増強委員長をやつたが、私の努力はさしてないにもかかわらず、3 名増強しており、これは皆様のお陰だと思ひている。リーマンショック後は特に厳しいと思ひます。私はサラリーマンロータリアンであり、今顧問となり、どうしようかと思つてる。入会 9 年だが、1 回も皆出席がないので、今年くらいはがんばりたいと思つてます。ビジターの皆さんは、100%出席のプレッシャーをお持ちです。少しはプレッシャーが必要。退会する方は、出席しないでやめてしまう方がほとんど。やはり退会者をださないためにも、例会に出ることが大切。例会に出ないと、ロータリーに行きにくくなる。例会以外でも、コミュニケーションを深める仕組みが大切。増強をもう一度見直し、私も今年は推薦できるよう、がんばりたいと思ひます。

入沢：退会については、事情があるため仕方がない場合もある。クラブが努力しても退会者はでる。だから、退会防止だけでは無理、増強をしなくてはいけなひ。橋本さんを紹介したが、生きがいをもつてやつてくれている。いつも入会してよかつたといっている。こんな人はまれ。一緒に働いている世田谷南 RC の事務局の鬼頭さんと話すが、JC とのつながりがあり、若い人がかなり有力だという。私達は第一線を退きつつある、だから若い人に入ってもらひたい。また、若い人もそういう機会を機会を求めていると思ひます。若い人を歓迎したい。

小林：私は 5 年目ですが、入会の動機は荒木さんと石井さんの義理としがらみです。なぜ続いているかというところ、そのしがらみが続いているというのが一つ、そのしがらみから欠席より出席のほうが多く、そこでまた新たな人とのしがらみができる。しがらみ以外の魅力は卓話。卓話は満足感を得る為の一つ、もう一度卓話についても考えたいと思ひます。

5. 講評 大西ガバナー補佐
素晴らしいクラブ協議会に出席ができ、嬉しく思ひます。本音を聞けてよかつた。27 年目になりますが、ロータリーでよかつたなと思ひます。卓話、おいしい食事も大切なのですが、私は 1990 年代の会社が苦しい時、幹事をやれといわれた。会社はつぶれるかもしれない、と申したところ、とにかくやりなさい、と。そして幹事をやりました。そして会社が大変な時でも、ロータリーだけは、続けてきました。幹事をやると結構忙しいが、気分転換できる時間でもありました。いろいろな方から声をかけていただき、奉仕の理想を歌うとジーンと来て、心の励ましになった。銀行に悪い部分は隠したくなるが、4 つのテストではないが、ありのままを話したところ、会社はつぶれましたが、すぐにまた会社を設立することができました。ロータリー活動がなかつたら、銀行に隠し事をして、上手くいつてなかつたかもしれなひ。

ここ何年かは、会長をやつたり、ガバナー補佐をやつたり、いろいろなことをやり、3 割位しか仕事をやつていないような感じですが、そのほうが会社の業績がいい。（笑）

昨日会員増強セミナーがあつた。2 つの考え方がありました。ある程度のバリアがあつていいんだという考え方、金銭的なバリアを低くして、事務局もいらなひ、食事もいらなひ、情報もネット配信をするというクラブもある。今の時代の感覚なのかもしれなひ。南、赤坂、芝は変えなひという。どこが違うのか、それぞれ個性があり、ベーシックは変えなひが、時代の流れとともに、スタイルを変えていくロータリーもありなのかもしれなひ、と思ひました。

6. 閉会の挨拶 庄司副会長
増強は、ホットで重要なテーマ、会員が増えなければ例会も活性化しなひ。クラブの将来を考えるためにも、会員増強は大切なこと。今日は大変有意義な協議会でした。ありがとうございました。

参加者：高須、庄司、村山、小林、入沢、田村、尾関、佐藤仁、松本、西澤、四分一、岡澤、大日方、清水、吉岡、橋本、石井、尾上 計 18 名（順不同・敬称略）



10月21日(金)/ 9件18,000円

累計358,500円

多額の寄付を有難うございました。

庄司泰典/誕生日祝いありがとうございます。吉岡琢磨/藤井さん、ニコニコご苦勞様です。お誕生日祝有りがとうございます。渡部一元/バースデー・プレゼントありがとうございます。西澤民夫/ミホさん、エイタロウさん、荒井さん、よくいらつしやいました。小林博茂/「雨あめ降れ降れ」というのどかさはなく、タイの水害は大変です。今週末西日本も又大雨。吉田用親/皆出席25年祝いありがとうございます。馬齢を喰みながらですが。思えば遠くに來たもんだ。田村昭二/高島さん卓話よろしくお祈りします。藤井さんニコニコご苦勞様です。清水實/ニコニコ担当は？季節の変わり目、体調に気をつけましょう。藤井万博/お誕生日の皆様おめでとうございます。いつまでもご健康であられますように。